

## 旧 Furrer の分類（7層）

齲蝕象牙質の層			
多菌層	最表層で、非常に多くの細菌が繁殖し、組織が崩壊している層	第一層	感染象牙質：細菌感染が激しく、再石灰化が不可能なため除去が必要
寡菌層	多菌層の直下で、細菌数は減少しているが依然として感染が認められる層		
先駆菌層	象牙細管の中に細菌が先行して侵入している層		
混濁層	脱灰が進み、組織が不透明（混濁）に見える層	第二層	影響象牙質：脱灰はしているが細菌感染はなく、再石灰化が可能のため保存を検討する
透明層	象牙細管内に石灰化物が沈着し、管腔が閉塞することで透明に見える層（防御反応の一種）		
生活反応層	齲蝕の刺激に対して歯髄が反応し、石灰沈着や脂肪変性が起きている層		
正常層	病変の影響を受けていない、健全な象牙質の層		